

# 世代間交流評価チェックリスト (児童用)

平成 25 年 3 月

地方独立行政法人東京都健康長寿医療センター  
東京都健康長寿医療センター研究所（東京都老人総合研究所）  
社会参加と地域保健研究チーム

# 世代間交流評価チェックリスト(児童用)

## 1. 背景

今日の少子高齢化を背景にして、全国的に世代間交流型の事業に注目が集まっており、実際にその件数も増加傾向にあります。一方で、現場では世代間交流事業が遅々として進展しない上に、その評価自体も行われていない現状にあります。世代間交流研究者の Kaplan 氏は、世代間交流事業における「世代間関与の深さ」の重要性を指摘しており、世代間の接触が「深く」なるにつれて事業参加者に恩恵をもたらすとしています。本研究チームでは、現場の先生、スタッフの方々が簡便かつ負担が少なく使用でき、「世代間関与の深さ」を科学的に評価するためのツール(チェックリスト)世代間交流評価チェックリストの開発をいたしました。

## 2. チェックリストの対象となる事業

このチェックリストは、教育支援を目的とした小学生向けの世代間交流事業を対象としております。項目の中には、世代間交流事業の目的や内容に適さない項目がある可能性もあります。本チェックリストを使用する前に、実施予定の世代間交流事業に適したものであるか十分な検討を行ってください。

## 3. チェックリストから分かること

このチェックリストは、行動観察調査から明らかになった「親密な世代間交流を通して向上が見られた子どもの会話スキルやポジティブな態度」をもとに作成されております。本チェックリストに記されている会話や態度がよく見られるほど、その世代間交流はより親密である(世代間関与が深い)ことを意味しております。逆に言うと、これらの会話・態度が見られない場合には、その交流事業に何らかの問題や改善すべき点がある可能性を示唆しています。よって、本チェックリストからは、①世代間交流事業の評価、②世代間交流事業の改善点の抽出、をすることができます。

## 4. 使用の手順

このチェックリストは、世代間交流事業を運営する先生やスタッフが使用することを想定して作成されております。「Ⅰ.会話チェックリスト」では、世代間交流を通じた児童の高齢者に対する会話の親密さ、「Ⅱ.態度チェックリスト」では、世代間交流を通じた児童の高齢者に対する態度の親密さがそれぞれ評価されます。書かれているそれぞれの項目を読んで、その項目が事業全体を通してどの程度当てはまるのか、「まったくなかった」から「よくあった」まで最も当てはまる項目の□にチェックを入れてください。続いて、回答項目の( )内に記入されている得点を和して合計得点を算出してください。算出した合計得点をもとに、世代間交流事業の判定を参照してください。

○ それぞれの項目の得点を決める際に、以下のことを考慮してください。


- (1) 児童個人の評価ではなく、事業に参加している児童全体の評価をしてください。  
(例えば、参加者全体の評価、クラス全体の評価)
- (2) その行動・会話がどの程度の頻度で起きるのかを評価してください。  
(例えば、数分に1回か、数時間に1回か)
- (3) その行動・会話がどの程度世代間交流を促進させているのかを評価してください。  
(例えば、高齢者とのコミュニケーションが成立していたか、成立していなかったか)

## 6. チェックリストの記入

●あなたが参加した世代間交流事業について、各質問について最もあてはまる項目の□に✓ を付けてください。

I. 会話チェックリスト					
1	児童は、みずから進んで高齢者にあいさつをしていた。	<input type="checkbox"/> まったくなかった (0点)	<input type="checkbox"/> あまりなかった (1点)	<input type="checkbox"/> 少しあった (2点)	<input type="checkbox"/> よくあった (3点)
2	児童は、みずから進んで高齢者に話しかけていた。	<input type="checkbox"/> まったくなかった (0点)	<input type="checkbox"/> あまりなかった (1点)	<input type="checkbox"/> 少しあった (2点)	<input type="checkbox"/> よくあった (3点)
3	児童は、丁寧な言葉使いをしていた。	<input type="checkbox"/> まったくなかった (0点)	<input type="checkbox"/> あまりなかった (1点)	<input type="checkbox"/> 少しあった (2点)	<input type="checkbox"/> よくあった (3点)
4	児童は、高齢者からの問いかけに応答していた。	<input type="checkbox"/> まったくなかった (0点)	<input type="checkbox"/> あまりなかった (1点)	<input type="checkbox"/> 少しあった (2点)	<input type="checkbox"/> よくあった (3点)
II. 態度チェックリスト					
1	児童が、高齢者の身体を気づかう態度が見られた(席を譲る、大きな声で話す、ゆっくり話す等)	<input type="checkbox"/> まったくなかった (0点)	<input type="checkbox"/> あまりなかった (1点)	<input type="checkbox"/> 少しあった (2点)	<input type="checkbox"/> よくあった (3点)
2	児童は、高齢者の話に耳を傾けていた。	<input type="checkbox"/> まったくなかった (0点)	<input type="checkbox"/> あまりなかった (1点)	<input type="checkbox"/> 少しあった (2点)	<input type="checkbox"/> よくあった (3点)
3	児童から高齢者に近寄っていた。	<input type="checkbox"/> まったくなかった (0点)	<input type="checkbox"/> あまりなかった (1点)	<input type="checkbox"/> 少しあった (2点)	<input type="checkbox"/> よくあった (3点)
4	児童は、活動に集中して取り組んでいた(活動内容に興味や関心を持って取り組んでいた)	<input type="checkbox"/> まったくなかった (0点)	<input type="checkbox"/> あまりなかった (1点)	<input type="checkbox"/> 少しあった (2点)	<input type="checkbox"/> よくあった (3点)

## 7. 総合判定

 あなたの世代間交流事業評価得点は:
 

I	II	合計得点
<input style="width: 50px; height: 40px;" type="text"/>	+	<input style="width: 50px; height: 40px;" type="text"/>
(0~12点)		=
	(0~12点)	<input style="width: 50px; height: 40px;" type="text"/>
		(0~24点)

判定	点数	交流の親密度	
	0~4点	とても低いと考えられる	改善する 必要あり
	5点~15点	やや低いと考えられる	
	16点~21点	やや高いと考えられる	改善する 必要なし
	22点以上	とても高いと考えられる	

## 8. 世代間交流事業の評価

あなたの世代間交流事業の評価はいかがでしたか？このチェックリストでは、世代間交流の視点から、行動観察調査の結果などに基づいて、「世代間交流の親密さ」を判定できます。評価得点が0～12では、世代間交流を通じた親密さは低い可能性があり、世代間交流事業の改善が必要になります。【参考】に掲載されている「世代間交流事業の改善点」を参照にして、次回に世代間交流事業を行う際の改善をおこなってください。世代間交流事業を再検討する際は、個人のみでの評価だけでなく、複数の職員・スタッフ間の評価を考慮した上で、課題と改善点を検討してください。世代間交流事業の目的や地域性に応じて適さない項目がある可能性もあります。

### 【参考】世代間交流事業の改善に向けて

世代間交流事業の改善には、各段階(事業前、事業中、事業後)において事業の目的、対象、人数、内容等を検討する必要があります。「世代間交流事業の改善点」を下記の表に示しますので参考にしてください。

### 【世代間交流事業の改善点】

#### 世代間交流事業前に確認すること：

##### 【内容】

- ① 事業の計画段階で、いろいろな人に意見を求める。
- ② 事業の目的は、明確になっている。

##### 【場所・人数】

- ③ 事業の参加者数は、事業内容に適した人数である。
- ④ 事業が開催された場所は、活動に適した広さである。
- ⑤ 事業が開催された場所は、子ども/高齢者が安全に活動できるような配慮がされている。
- ⑥ 参加者が開催場所へアクセスしやすいように工夫している。(駐輪場・駐車場の確保、案内板の設置など)

##### 【スタッフの準備】

- ⑦ 事業のスタッフは、「高齢者」と「子ども」について、十分理解している。
- ⑧ スタッフ間の連絡は、スムーズにいくようになっている。
- ⑨ 同じ世代同士が固まらないような工夫をしている。

#### 世代間交流事業中に確認すること

- ⑩ 子どもと高齢者の参加者は、それぞれが事業の内容に関心を持って取り組んでいる。
- ⑪ 事業では、子どもが高齢者に感謝する様子が見られる。
- ⑫ 事業の中で、高齢者と子どもが自然に話をする様子が見られる。

#### 世代間交流事業後に確認すること：

- ⑬ 事業が終わった後に、スタッフ間で反省点を確認する。
- ⑭ 次回の事業の実施を計画している。